

事務事業評価(平成30年度決算) 事業一覧

部、室等	下水道部
------	------

シート番号	所属	事務事業名	H30決算 事業費(千円)	今後の事務事業の方向性
1	下水管理課	雨水関連施設維持管理事業	23,919	継続
2	下水管理課	管渠維持管理事業	231,131	課題付継続
3	下水管理課	ポンプ場維持管理事業	338,115	継続
4	下水管理課	処理場維持管理事業	333,512	継続
5	下水管理課	下水道使用料収納関係等一般事務事業	172,104	課題付継続
6	下水管理課	流域下水道維持管理事業	352,949	継続
7	下水管理課	管渠整備事業	1,343,441	課題付継続
8	下水管理課	ポンプ場整備事業	715,810	課題付継続
9	下水管理課	処理場整備事業	56,673	課題付継続
10	下水管理課	企業債償還事業	1,575,104	継続

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	一般会計
----	------

事務事業名	雨水関連施設維持管理事業
-------	--------------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
26,284	23,919	消耗品費 14千円 光熱水費 3,330千円 修繕料 48千円 通信運搬費 190千円 委託料 14,064千円 工事請負費 6,193千円 材料費 80千円		

概要	実施内容等	説明
		<p>本市域内の内水排除等にあたり、公共下水道で行うものを除き、当該事業において、主に以下のものを行う。</p> <p>【浸水対策ポンプ場の維持管理等】 下水道管渠が対応している降雨量(1時間あたり54.4mm)以上の雨水により発生する浸水被害等を軽減するため、浸水対策用ポンプ(※)の老朽化による運転不能、揚水能力の低下等を未然に防ぎ、大雨時には的確な運転を図るとともに、家屋への浸水を防ぐため、土のうの配布などを行う。</p> <p>※浸水対策用ポンプ：マンホール内に設置されており、雨水が管渠から溢れ浸水することを防ぐために、ある程度の水位に達すると水路等へ排水するマンホールポンプをいう。</p> <p>【用排水路の維持管理】 複数市にまたがり流れている幹線水路は、淀川左岸用水管理施設維持管理事業にて維持管理を行っているが、幹線水路から枝分かれし各市を流れている水路については各市で維持管理を行うこととなっている。他市と隣接する水路の管理は協定を交わし維持管理の基準を取り決めている。</p> <p>この水路は農業用水の供給施設としての役割と、遊水池としての機能も合わせ持つ施設であるため、適正な維持管理を行い保水、遊水機能の確保、生活環境の衛生向上を図る。</p>
		<p>・光熱水費 [ポンプ設備電気使用料 3,330千円]</p> <p>・委託料 [ポンプ施設点検業務委託 2,065千円] [水路草刈等業務委託 11,999千円]</p> <p>・改良工事請負費 [浸水対策ポンプ改良工事 2,870千円]</p> <p>・補修工事請負費 [幹線水路側道補修工事 491千円] [水路土留・防護柵補修工事 1,188千円] など</p>
「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	<p>基本目標等</p> <p>自然環境と調和し共生する安全・安心なまち</p> <p>施策の大綱 (基本的な方向性)</p> <p>安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備</p>	

今後の事務事業の方向性	継続	浸水対策ポンプは平成29年度から、庁内からシステムによる遠隔監視を行い、平時からポンプの可動状況の把握や維持管理及び降雨時対応の効率化を図っており、今後とも浸水被害の軽減及び施設の適正な維持管理に努める。
-------------	----	--

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	管渠維持管理事業
-------	----------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
257,434		231,131	人件費	93,980千円
			消耗品費	764千円
			被服費	50千円
			燃料費	532千円
			印刷製本費	18千円
			光熱水費	118千円
			使用料	415千円
			委託料	73,630千円
			工事請負費	58,699千円
			材料費	2,925千円

概要	実施内容等	説明		
		事業費詳細	<p>本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、浸水の防除のため昭和26年から下水道管渠の布設に取り組んでおり平成10年には普及率が約100%にまで達しているが、年数を経て老朽化した管渠が増加している。</p> <p>この事業では、社会基盤施設の性能を確保するため、下水道管渠の清掃、補修工事や、下水道法に基づいた特定施設からの排水の指導などの適切な維持管理を行う。</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> ・使用料 [下水道台帳機器リース 415千円] ・委託料 [下水道管渠浚渫業務委託等 43,022千円] [下水道管渠清掃業務委託 4,302千円] [下水道管渠調査業務委託 5,126千円] [市民受付浚渫業務委託 4,441千円] [水質分析業務委託 3,398千円] [気象情報提供業務委託 2,138千円] など ・工事請負費 [下水道管渠維持補修工事 58,699千円] など 	
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち	
		施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備	

今後の事務事業の方向性	課題付継続	管渠の老朽化が道路下の空洞化を発生させ、道路陥没等を引き起こす原因となっていることから、道路空洞調査の結果を参考に、適正な維持管理に努める。
-------------	-------	--

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	ポンプ場維持管理事業
-------	------------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
374,679	338,115	人件費	32,956千円	
		消耗品費	224千円	
		薬品費	46千円	
		燃料費	13千円	
		光熱水費	7,183千円	
		修繕費	188千円	
		通信運搬費	1,295千円	
		手数料	135千円	
		使用料	0	
		委託料	204,048千円	
		工事請負費	39,165千円	
		材料費	118千円	
		動力費	52,756千円	

概要	実施内容等	説明
		事業費詳細
「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
	施策の大綱(基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	継続	今後も適正な維持管理に努める。また、更なる業務の効率化については、更なる検討を行われたい。
-------------	----	---

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	処理場維持管理事業
-------	-----------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
367,622	333,512	人件費	33,032千円	
		消耗品費	895千円	
		被服費	8千円	
		薬品費	3,918千円	
		燃料費	153千円	
		光熱水費	3,722千円	
		修繕費	49千円	
		通信運搬費	939千円	
		使用料	14千円	
		賃借料	125千円	
		委託料	221,667千円	
		工事請負費	23,501千円	
		材料費	302千円	
		動力費	45,178千円	

概要	実施内容等	説明	<p>本市の下水道事業は西三荘雨水幹線を境に、単独公共下水道である守口処理区(昭和27年度事業認可)と寝屋川流域関連公共下水道である鴻池処理区(昭和43年度事業認可)に分かれており、守口市下水終末処理場では守口処理区の汚水を処理している。</p> <p>また、汚水処理に伴って発生する下水汚泥については効率化を図るため流域下水道へ処理委託を実施している。</p> <p>本市では早期に下水道事業に着手したため、現在稼働中の処理場は昭和47年供用開始と老朽化が進んでおり、計画的な補修が必要となっている。</p> <p>また、終末処理場は水質汚濁防止法上の特定施設にあたり、同法の一律排水基準や大阪府の上乗せ基準等による規制を受けており、公共用水域の水質保全のため基準の遵守が求められている。</p> <p>この事業では、当該守口市下水終末処理場の適切な維持管理及び運転を行い、市民の衛生的な生活環境を維持し、公共用水域の水質保全に寄与するもの。</p>
		事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 [下水汚泥処理委託 108,615千円] (寝屋川北部流域下水汚泥処理事業) [守口処理場運転操作等業務委託 100,462千円] [水質分析業務委託 3,122千円] など ・工事請負費 [守口処理場計装設備補修工事 4,082千円] [守口処理場A系最終沈殿池汚泥掻寄機No.1・2減速機取替工事 3,728千円] [守口処理場B系消防設備補修工事 3,618千円] など ・動力費 [電気料金 44,960千円] [燃料費 219千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
	施策の大綱(基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備	

今後の事務事業の方向性	継続	今後も適正な維持管理に努める。なお、将来的な公共下水道関連設備の整備のあり方や運営手法について、費用対効果の観点から課題整理等に努められたい。
-------------	----	---

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	下水道使用料収納関係等一般事務事業
-------	-------------------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
194,057	172,104	人件費等	88,985千円	
		消耗品費	47千円	
		印刷製本費	109千円	
		光熱水費	3千円	
		修繕費	635千円	
		通信運搬費	567千円	
		保険料	1,152千円	
		委託料	75,747千円	
		負担金	610千円	
		交付金	384千円	
		研修費	154千円	
		公租公課費	101千円	
		その他	3,177千円	

概要	実施内容等	説明	下水道事業の財源となる下水道使用料の収納事務、下水道事業の経営に関する事務を行い安定的な運営を図る。
		事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 [下水道使用料徴収委託 73,206千円] [企業会計システム保守等 1,425千円] ・負担金 [下水道協会会費・汚染負荷量賦課金等 610千円] ・研修費 [酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習等 154千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
	施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備	

今後の事務事業の方向性	課題付継続	引き続き、水道局と連携し、効率・効果的で適正な下水道使用料収納体制の堅持に努める。また、下水道事業の持続可能性を高める観点から、老朽化する下水道施設のストックマネジメントと一体となった経営戦略の策定について、その概略をできる限り早期に示されたい。
-------------	-------	---

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	流域下水道維持管理事業
-------	-------------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳 平成30年度 決算
	予算	決算	
	380,226	352,949	・流域下水道維持管理負担金：248,331千円 ・流域下水道汚泥処理負担金：104,618千円

概要	実施内容等	説明	流域下水道は、広域的に河川等公共用水域の水質保全及び浸水防除を目的として、本市を含む9市の汚水を処理し、市民の衛生的な生活環境の維持を図る。 守口市では排水の処理区域が、鴻池処理区と守口処理区の2つに分かれており、鴻池処理区の排水は流域下水道の処理場へ送られ処理されている。 なお、守口処理区の排水については守口処理場へ送られ処理された後、排水の処理した際に発生する下水汚泥を守口処理場から流域下水道の処理場に送り処理されている。
		事業費詳細	・負担金 [流域下水道施設維持管理費負担金 277,777千円] [流域下水汚泥処理施設維持管理費負担金 106,664千円]
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
		施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	継続	今後も適正な維持管理に努める。
-------------	----	-----------------

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	管渠整備事業
-------	--------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
1,446,007	1,343,441	人件費 30,745千円 備消耗品費 375千円 被服費 4千円 燃料費 63千円 修繕費 30千円 手数料 72千円 使用料 2,137千円 委託料 54,119千円 工事請負費 1,255,895千円		

概要	実施内容等	説明	<p>本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、浸水の防除のため昭和26年から下水道管渠の布設に取り組んでおり普及率が約100%にまで達しているが、年数を経て老朽化した管渠の改築更新が必要となっている。</p> <p>そこで、管更生工法等により管渠の適正な改築更新を行うこと、また下水道総合地震対策計画(※)に基づき地震・浸水被害等に備えた新たな施設整備によって機能を維持するとともに、今後発生する大災害等に対応する能力の確保を目指すもの。</p> <p>※下水道総合地震対策計画とは、重要な下水道施設の耐震化を図る「防災」と、被災を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な地震対策を推進するための事業計画</p>
		事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料 [土木工事積算システム 2,137千円] ・委託料 [設計積算・工事監理業務委託 10,422千円] [老朽管調査業務委託 10,260千円] など ・工事請負費 [下水道改築工事 178,708千円] [下水道管渠耐震化工事 219,433千円] [松下菊水放流幹線築造工事(H29～H31) 848,936千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
		施策の大綱(基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	課題付継続	耐用年数が超過している管渠については、年次的に更新することができるようストックマネジメントを行うとともに、将来的な公共下水道関連設備の整備のあり方については、費用対効果の観点から、課題整理等に努める。
-------------	-------	--

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	ポンプ場整備事業
-------	----------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
806,213		715,810	人件費	37,936千円
			委託料	5,097千円
			工事請負費	672,775千円

概要	実施内容等	説明	本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、浸水の防除のため昭和26年から下水道事業に取り組んでおり、現在の施設は大枝ポンプ場が昭和43年、八雲ポンプ場が昭和44年、梶ポンプ場が昭和51年、寺方ポンプ場が昭和41年の供用開始であり、各施設の老朽化が進む中、維持管理の段階から改築の段階を迎えていることから、計画的な更新によって機能を維持するとともに、今後発生する大災害等に対応する能力の確保を目指すもの。
		事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 [八雲ポンプ場コンクリート劣化等調査業務委託 1,890千円] 工事請負費 [大枝ポンプ場耐震補強工事 144,126千円] [梶ポンプ場雨水ポンプNo.3設備工事 271,188千円] [八雲ポンプ場雨水ポンプNo.1原動機ほか設備工事 108,000千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
		施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	課題付継続	耐用年数に応じた適正な更新が行えるよう、ストックマネジメントを行うとともに、将来的な公共下水道関連設備の整備のあり方については、費用対効果の観点から、課題整理等に努める。 なお、八雲ポンプ場の更新にあたっては、工事を進めるに当たり課題があることから実効性のある整備計画をできる限り早期に立案されたい。
-------------	-------	---

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	処理場整備事業
-------	---------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳	
	予算	決算	平成30年度	決算
81,986	56,673	人件費	24,995千円	
		委託料	10,238千円	
		工事請負費	21,438千円	

概要	実施内容等	説明	本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、公共用水域の水質保全のため昭和26年から下水道事業に取り組んでおり、現在の施設は昭和47年に供用開始した施設で老朽化が顕著です。 老朽化等による機能停止は処理水質の維持及び水質保全に大きな影響があるため、適正な改築更新を行うことにより基本目標の達成を図る。
		事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 [守口処理場照明設備工事 10,238千円] 工事請負費 [守口処理場照明設備工事 11,124千円] [守口処理場記録計改良工事 4,968千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等 施策の大綱 (基本的な方向性)	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち 安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	課題付継続	耐用年数に応じた適正な更新を行えるよう、ストックマネジメントを行うとともに、将来的な公共下水道関連設備の整備のあり方や運営手法については、費用対効果の観点から課題整理等に努められたい。
-------------	-------	--

平成30年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水会計
----	------

事務事業名	企業債償還事業
-------	---------

事業費 (単位：千円)	平成30年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成30年度 決算
1,575,104	1,575,104	1,575,104	企業債償還元金 1,575,104千円

概要	実施内容等	説明	下水道施設の建設に伴い、金融機関等から借入れている起債について償還事務を行う。長期の返済を見据え、計画的に借入を行うことを目指すもの。
		事業費詳細	・企業債償還元金 1,575,104千円
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
		施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	継続	引き続き、借換えも含めて少しでも有利な条件で借入が出来るよう事業を進め、持続可能な経営に取り組む。
-------------	----	---